

## マスクデータの利用

**Q15** 現在マスクされているデータを、全て解析対象に戻し、再度マスクする、という作業を繰り返す必要が生じた場合、StatWorks ではできますか？

**A15** 質的変数を生成するのが効率が良いと思われます。

StatWorks では、条件を指定してマスクを行った場合などはマスクを再現することはできますが、解析途中でマスクを繰り返した場合などは再現できない場合があります。後者の場合、全サンプルで解析を行うように戻してしまうと、再度マスクしていた状態に戻すのは簡単ではありません。

そこで、このような場合にはマスクした情報を持った質的変数を作成する方法をお勧めします。例えば、下のようにします。このようにしておけば、質的変数の「解析対象にする／しない」の機能を使って自由にマスクをしたり戻したりできます。



	S 1	N 2	C 3	変数
	サンプル名	変数2	解析対象	
1	s1	20.000	解析対象	
2	s2	15.000	マスク	
3	s3	35.000	解析対象	
4	s4	44.000	解析対象	
5	s5	16.000	解析対象	
6	s6	28.000	解析対象	
7	s7	33.000	マスク	
8	s8	45.000	解析対象	
9	s9	60.000	解析対象	
10	s10	12.000	マスク	

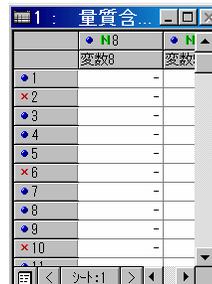
マスクの情報を持たせた質的変数を作成する。

この変数を生成する方法は幾つかありますが、例えば以下のような方法があります。

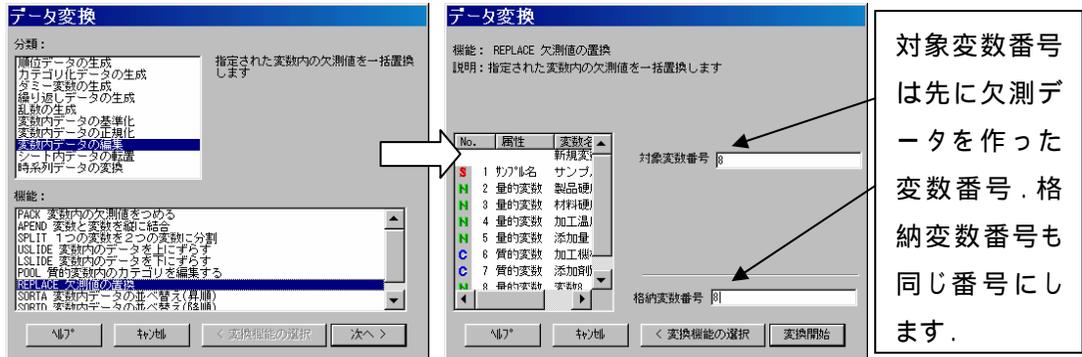
[手順]

空いている変数に全てが欠測である情報を入力します(例えば、サンプル1に値を入れて、削除すれば全てが「-」になります)。

「手法」-「データ変換」-「変数内データの編集」を選び、「REPLACE」を選択します。変数番号入力後、[変換開始]ボタンを押します。



	N 8	N
	変数6	変数
1	-	
2	-	
3	-	
4	-	
5	-	
6	-	
7	-	
8	-	
9	-	
10	-	



「文字列の入力」では変数名を入力して(例えば, 解析対象) [OK] ボタンを押します.

「置換後の値」では, 任意値に「1」を入力して, [OK] ボタンを押します.

「データ変換」ダイアログに戻ったら, [終了] ボタンを押します.

解析対象データに「1」が入った量的変数が生成されます.

この方法は, マスクしたデータには, 値が入力されないという機能を使っています.

	H8	N
	解析対象	変数
1	1.000	
2	-	
3	1.000	
4	1.000	
5	1.000	
6	-	
7	1.000	
8	1.000	
9	1.000	
10	-	
11	1.000	

全てのデータを解析対象にします.

サンプル番号に描かれている上の四角をクリックし, ワークシートが黒く反転したところで  ボタンを押します.

	H8	N
	解析対象	変数
1	1.000	
2	-	
3	1.000	
4	1.000	
5	1.000	
6	-	
7	1.000	
8	1.000	
9	1.000	
10	-	
11	1.000	

再び, 「手法」 - 「データ変換」 - 「変数内データの編集」 - 「REPLACE」を選び, 欠測値を「2」に置き換えます.

生成した変数を「量的変数」から「質的変数」に置き換えます (必要に応じてカテゴリ名も変更して下さい).

	C8	N
	解析対象	変数
1	解析対象	
2	マスク	
3	解析対象	
4	解析対象	
5	解析対象	
6	マスク	
7	解析対象	
8	解析対象	
9	解析対象	
10	マスク	
11	解析対象	

掲載されている著作物の著作権については，制作した当事者に帰属します．

著作者の許可なく営利・非営利・イントラネットを問わず，本著作物の複製・転用・販売等を禁止します．

所属および役職等は，公開当時のものです．

■公開資料ページ

弊社ウェブページで各種資料をご覧ください <http://www.i-juse.co.jp/statistics/jirei/>

■お問い合わせ先

(株)日科技研 数理事業部 パッケージサポート係 <http://www.i-juse.co.jp/statistics/support/contact.html>